

社是：喜んでもらえる喜び己も喜びたい

経営方針と成長戦略

（招集ご通知5頁～6頁）



株式会社 TBグループ

1. 経営理念と社名の由来

＜経営理念＞

喜んでもらう喜び 己も喜びたい (FOR YOU)

＜社名 TBの由来＞

①トレンドビジネス(TB)を目指します。

時流の「環境」「健康」「観光」のグッド3K市場でニッチトップシェアをとる事業を行います。

②トータルワンストップビジネス(TB)を目指します。

メーカーからソリューションビジネスまで、ワンストップで顧客満足の高いビジネスを行います。

2. 2018年度 経営スローガン

「3C(チェンジ チャンス コネクト)で NEXTステージへ！」

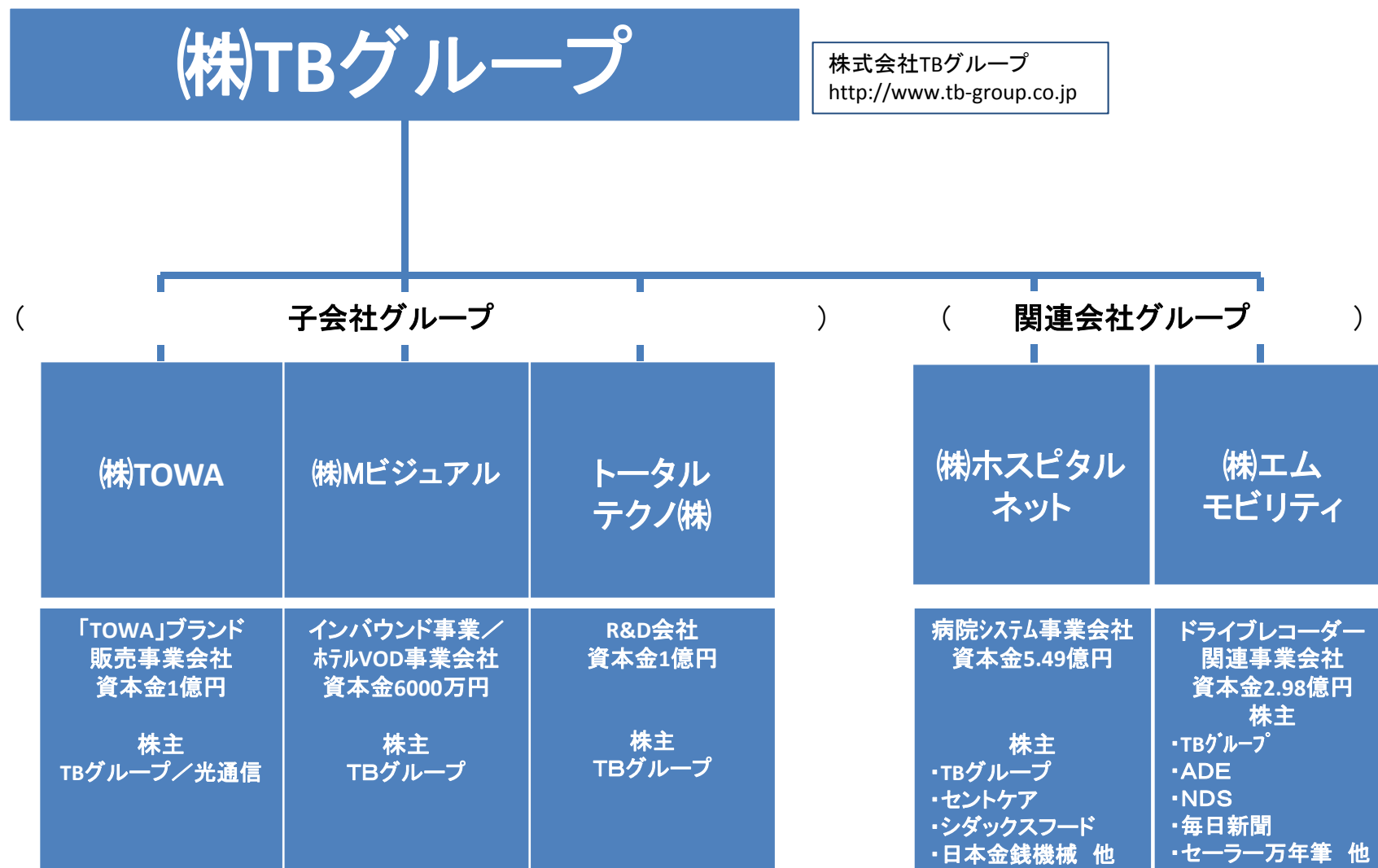
- ①「チェンジ(変化)」は、半旧倍新を更に進める前向きの攻めの戦略とします。
- ②「チャンス(好機)」は、新規事業が芽を出し始めました。LEDにおける高精細フルカラービジョン、iサイネージ、SAのレジ・POSにおけるクラウド対応レジ、インバウンドにおける「IPTV活用スマテレ®」、病院・介護施設向け「スマートヘルスケア」等を有力企業との「共創」と「協業」戦略で収益化を図ります。
- ③「コネクト(つながる)」は、ハードセールス主体の収益モデルから、ハード＋システム＋情報・保守サービスのソリューション型収益モデルの拡充を図ります。

3. 技術・商品開発力…普及率ゼロ・業界初(PAT保有)の歴史

創業～1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年以降	今後
・コンピュータ発明 ・トランジスタ発明 ・LED発明 ・マイコン/PC誕生	・家庭用VTR発売 ・3D映像第2次ブーム	・携帯電話誕生 ・マルチメディア元年 ・Webブラウザ登場 ・インターネット元年	・プラズマTV登場 ・デジカメ登場 ・iMac/iPod登場 ・DVDレコーダ登場	・iPhone/iPad登場 ・掃除ロボット・ルンバ登場 ・ブルーレイ登場	



4. グループ構成



5. 人 脈

安藤国威(あんどう くにたけ) 氏



<略歴>

昭和17年1月1日生

昭和44年 ソニー株式会社入社

昭和54年 ソニー・プルデンシャル生命保険株式会社(現ソニー生命保険株式会社)代表取締役常務

昭和60年 同副社長

平成 6年 ソニー株式会社取締役

平成12年 ソニー株式会社 代表取締役社長兼COO

平成17年 ソニーフィナンシャルホールディング株式会社
代表取締役会長

平成23年 ソニー生命保険株式会社 名誉会長

(株)TBグループ 特別顧問

(株)エムモビリティ 取締役会長

中島 義雄(なかじま よしお) 氏



<略歴>

昭和17年3月30日生

平成5年 大蔵省(現財務省)主計局次長

平成12年 京セラミタ(株)代表取締役専務

平成17年 船井電機(株)取締役執行役員副社長

平成21年 セーラー万年筆(株)代表取締役社長

平成29年 (財)日本価値協創機構特別顧問(現任)

(株)TBグループ 社外取締役

藤野 公孝(ふじのきみたか)氏



<略歴>

昭和23年5月29日広島県生

平成11年 運輸省運輸政策局観光部長

平成12年 大臣官房 総務審議官(退官)

平成15年 参議院議員

平成18年 国土交通大臣政務官

平成27年 (一社)全日本社寺観光連盟会長

平成29年 (一社)宿泊施設関連協会最高顧問

(株)Mビジュアル 顧問

6.成長戦略

デジタルサイネージ(DS)分野

トップシェアは
文字情報から映像へ!



屋外デジタルサイネージの多様なノウハウを活かし、幅広い業種・業態に対応。小型から大型まで、さまざまなニーズに応える。

レジ・POS(SA)分野

豊富なノウハウは
新たなマーケットニーズにコネクト!



新スタイルモバイルPOS
NECモバイルPOS × TOWAISAPPOS

日本初、指紋認証
銀行口座連携POSシステム

ホテル宿泊事業(まゆ玉)分野

急激な宿泊需要拡大

「また泊まりたくなる」をコンセプトに、ホテル向け
Sleeping Box「まゆ玉」の企画・開発・販売を開始。
業匠登録番号 1570037 1570123/特許出願済



- ①直営ホテル出店(関内) → ショールミツ・製品価値向上・運営ノウハウ習得
- ②省力化システム製品化 → セルフチェックインシステム
- ③共創と協業 → IoT企業・寝具メーカー等とのコラボ
- ④コンサルティングサービス強化 → 業界経験者起用
- ⑤フランチャイズ展開 → まゆ玉販売・ロイヤリティ収入

Sleeping Box「まゆ玉」を契機に、ホテル(簡易宿所)
業界のトータルプランナーとしてトップブランドを目指します!



ホテル／病院分野

・インバウンド急増(2860万人)

・超高齢化時代到来

(65歳以上3350万人:2015年現在)



AIビジネス(スマテレ・スマートヘルスケア)

ホテル・病院・介護施設向けIPテレビ／AI
家電等、見守りセンサーをパッケージした
IoT関連事業を始める。



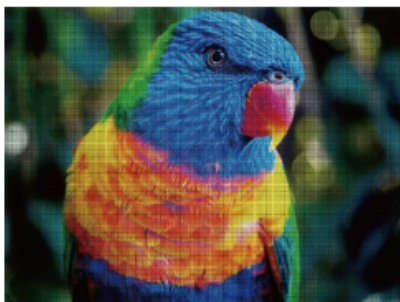
6.1 LEDサイネージ(パブリシティ 1/22)

2018年1月22日
株式会社TBグループ

リッチコンテンツ対応型 屋外仕様 ウルトラ高精細フルカラーLEDディスプレイ

アヴァンシックス ラスターカラー「Avant6」

株式会社TBグループ(本社:東京都文京区、社長:村田三郎)は、自由自在に連結を可能とした屋外向けウルトラ高精細フルカラーLEDディスプレイ「Avant6」(アヴァンシックス)を本年1月22日より発売開始します。



本製品「Avant6(以下アヴァンシックス)」は従来品がピクセル間隔 10mm ピッチであったのに対し、同サイズにて 6.67mm ピッチの超高精細化を実現。RGB3in1フルカラーチップLEDの個数でいうと従来品 12,288 個に対し本製品 27,648 個となっており、実に画素数 2.25 倍と圧倒的なウルトラ高精細を実現しました。

またアヴァンシックス同士を縦横に自由自在に連結することができます。これによりさらに大きな画面を構成したり、超横長や超縦長など液晶では実現困難な縦横比の画面をシームレスで実現することが可能です。

本体重量はアルミニウム等を主な素材として使用することにより従来品(約 46kg)に対して約 7kg の軽量化(約 39kg)。これによって設置ロケーションの幅が広がります。

格段に細密な表現が可能なアヴァンシックスは店舗や施設のアピールポイントを静止画や動画でわかりやすく PR することができ、リッチコンテンツを訴求したいユーザー層(広告用ビルボード、大型店舗、大型施設など)の期待に応えます。もちろん通常の飲食店や小売業、サービス業などの一般店舗、商業施設や公共施設などあらゆるロケーションに対してその訴求力・表現力は有効です。

アヴァンシックスは全国の販売店および弊社直販営業を通じて販売していきます。

また、多様なユーザー様のご要望に応えるため、メーカー保証期間を 2 年間延長するプランもご用意いたしました。

特長

1. 約 63 インチの大画面！
W1,280×H960mm の大画面でアイキャッチが抜群です！
2. 約 6.67 mm ピッチのウルトラ高精細！
27,648 個もの RGB3in1 チップ型 LED をわずか 6.67mm 毎に配置しました。
従来品と比較して 2.25 倍の超高精細化を実現。
3. 高い視認性、高輝度&広視野角！
5,000 カンデラ/㎡以上(正面・白・最大輝度時)の高輝度で屋外でもしっかりとアピールできます。またチップ型 LED で非常に広い視野角(水平 140° / 垂直 90°)を誇ります。
4. 自由自在に連結拡張！
縦にも横にも連結して拡張が可能です。これによりさらに大きな画面を構成したり、超横長や超縦長など液晶では実現困難な縦横比の画面をシームレスで実現できます。
5. イージーメンテナンス！
状況に応じてフロント/リア双方から表示パネル/電源ボックスにアクセスすることができ、メンテナンスが可能です。さまざまな設置環境において柔軟に対応できます。
6. 軽量化設計！
主な材料にアルミニウムを使用し、本体重量を約 39kg と軽量化しました。
従来品(約 46kg)と比較して約 7kg 軽量化し、設置条件の幅が広がります。

6.2 SA事業(パブリシティ 2/9)

2018年2月9日
株式会社TBグループ

日本初・銀行口座と連携した指紋決済サービス対応POSシステム 三菱地所新本社へ導入

株式会社TBグループ(本社:東京都文京区、代表取締役会長兼社長:村田 三郎、以下 TBG)と株式会社Liquid(本社:東京都千代田区、代表取締役:久田 康弘、以下 Liquid)は、本年1月5日に移転した三菱地所新本社にて、日本初となる銀行口座連携型 指紋認証決済システム「PASS」(Liquid)と連動カスタマイズを行ったPOSシステム「TOUCH REGI® for Food」(TBG)をオフィス内の社員食堂に導入し、実証実験を開始しました。

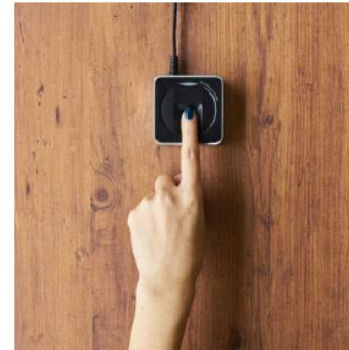
TBGは、今後もLiquidと連携を取り、三菱地所新本社での実証実験を通じて、丸の内をはじめ、新しい街づくりへの展開を目指します。

※三菱地所は、「新たな価値を創造し続けるオフィス」の実現に向けて、本社を移転し、新本社におけるオフィス環境改革と諸制度等の改革を一体的に推進しています。

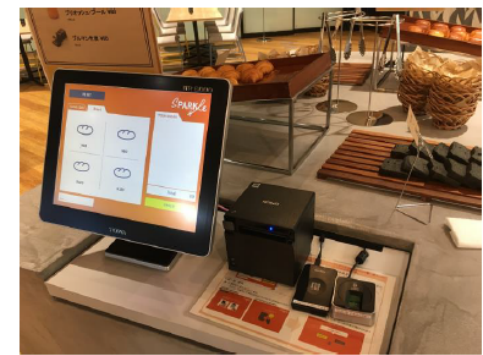
今回の導入は、指紋認証決済システム「PASS」に対応したPOSシステム「TOUCH REGI® for Food」を、オペレータ型POS、セルフ型POSそれぞれの運用に対応し、銀行口座から直接決済額を引き落とす後払い決済のPOSシステムとして、日本で初めて導入しました。決済方法を指紋認証決済システム「PASS」と電子マネーに限定し、完全キャッシュレスでの運用を実現、手ぶらで食堂が利用可能となりました。

「PASS」は、日本全国ほとんどの金融機関の口座と連携でき、クレジットカードを持ってなくても利用できます。また、クレジットカードを介さないことで、クレジットカードの導入にあたって必要となる加盟店側の手数料を低減し、新しい決済手段としての展開を目指します。

指紋認証決済システム「PASS」



三菱地所新本社 導入POSシステム



6.2 SA事業(パブリシティ 3/2)

2018年3月2日
株式会社TBグループ
日本電気株式会社

タブレットPOS市場の更なる開拓に向け
TBグループ(TOWA)とNECが共同で
タブレットPOSシステムを販売

株式会社TBグループ(本社:東京都文京区、代表取締役会長兼社長:村田 三郎、以下 TBG)と日本電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長兼 CEO:新野 隆、以下 NEC)は、急速に成長するタブレットPOS市場に向けて、NECが提供するiPad向けクラウド型POSレジサービス「NEC モバイルPOS」をTBGが提供するプリンタ・各種インターフェース一体型のiPad向け多機能業務用スタンド「iSAPPOS Cシリーズ」に対応させ、2018年3月から販売を開始します。また、販売開始に先駆け、本サービスを「リテールテック JAPAN 2018」(会期:3/6(火)~9(金)、会場:東京ビッグサイト(東京都江東区))に出展します。

TBGは、これまでのレジスター、POSハードウェア、各種キャッシュドロアの製造・販売で培ってきた経験を基に、急速に成長するタブレットPOS市場をターゲットとして、これまで「キャッシュドロア」、「カスタマディスプレイ(お客様側表示)」、「プリンタ」をはじめとする周辺機器を販売してまいりました。そして、昨年10月に、コンパクトにプリンター一体型となった「iSAPPOS Cシリーズ」を発売し、タブレットPOSユーザーの求める幅広い機器をワンストップで提供する体制を整えました。

ソフトウェア(ソリューション)については、パートナーSIベンダー様と協業して参りました。

NECは、約20年間POSシステムの開発・製造を行っており、累計販売台数は数十万台に及びます。本POSシステム販売で培ったノウハウは「NEC モバイルPOS」へも反映しており、1店舗のみの小規模事業者から数千店舗のチェーン店を有する大規模事業者まで、幅広い規模の小売店で利用可能な機能を提供しています。また、24時間365日対応できるサポート体制も整えており、日本全国全てのユーザーが安心して利用できるシステムです。

今後、更なる事業拡大に向けて、従来から行っているチェーン店をメインターゲットとした直販と、全国の販売パートナー企業を通じた中小店舗への販売に加え、様々な販売パートナーとの連携も強化して参ります。

また両社は、国内の流通業界における相互の長年の経験と実績をもとに、急成長を続けるタブレットPOS市場に対して、相互の製品・サービスを連携することで「レジ業務としての使いやすさ」、「幅広い拡張性を持つソリューション」、そして「安心を提供するシステム」を開発し、幅広く提供していきます。

※記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の登録商標または商標です。



共同で提供するタブレットPOSシステム

6.3 まゆ玉事業(パブリシティ 5/18)



平成30年5月18日(金)

各 位

会 社 名 株式会社TBグループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
(コード番号: 6775 東証第2部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一
電話番号 03-5684-2321 (代表)

ホテル宿泊事業の進出に関するお知らせ

当社は、平成30年5月18日開催の取締役会において、以下のとおり、新たな事業を開始することについて決議しましたので、お知らせ致します。

1. 事業開始の趣旨

昨今の急激な訪日観光客の増加による宿泊施設の逼迫状況を受け、また今後更に宿泊需要が高まることから、弊社では宿泊施設向け客室設備として“また泊まりたくなる”をコンセプトにした Sleeping Box®「まゆ玉®」の企画・開発・販売を開始し、様々な業種から多数の引合いを頂いて参りました。

この度弊社では、今後の宿泊施設の更なる需要拡大に対応していくため、Sleeping Box®「まゆ玉®」を導入したアンテナショップ型宿泊施設『(仮称) まゆ玉 ホテル』を直営店舗として展開し、ホテル宿泊事業に参入致します。これにより本事業のコンセプトとなっている“また泊まりたくなる”カプセルベッドの企画・開発・販売から、ホテル事業全体に事業領域を拡大して参ります。

2. 新たな事業の概要

(1)、『(仮称) まゆ玉ホテル』の特徴

- ①アンテナショップ機能を有した直営店舗として主要都市を中心に展開して参ります。
- ②出店するエリアに応じたテーマを設定し、施設の内外装デザインをはじめ、対象となる顧客層に合わせたイベントやサービス（ヘルスプロモーション）を提供し、既存ホテルとの差別化を図って参ります。
- ③お1人様宿泊に対応するとともに、昨今ニーズが高まっている女性同士のグループ宿泊等、国内外の多様なニーズに対応致します。
- ④ホテル業界における人材不足と経費の削減を図るため、弊社において長年培ったPOSフロントシステムのノウハウを活かした無人フロントシステムを開発し、宿泊施設に導入して参ります。これにより、チェックイン・チェックアウト手続きを無人で行えることが可能となり高い収益性を確保致します。

(2)当該事業を担当する部門

事業推進本部 まゆ玉グループ

3. 日程

(1) 取締役会決議日	平成30年5月18日
(2) 事業開始期日	平成30年8月(予定)

4. 今後の見通し

直営店舗『(仮称) まゆ玉ホテル』は、アンテナショップ機能を有した直営店舗に加えフランチャイズ展開を行っていく予定です。なお、平成31年3月期の業績に与える影響は軽微ではありますが、将来の当社の業績に影響を及ぼす可能性があるため、今後の進捗状況を適時開示させていただきます。

以上



広々スペースとして業界最大セミダブルベッドサイズを実現！



Y字構造にて上階への安心安全な昇降性を実現！

6.3 まゆ玉事業(パブリシティ 6/22)



平成30年6月22日

各位

会社名 株式会社TBグループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
(コード番号: 6775 東証第2部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一
電話番号 03-5684-2321 (代表)

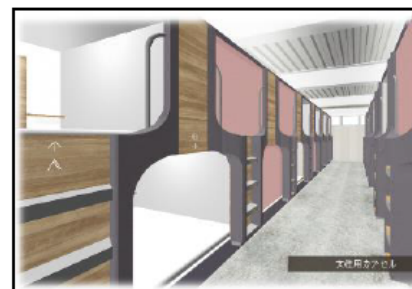
TBグループホテル直営店舗に関するお知らせ

当社は、平成30年5月18日付「ホテル宿泊事業の進出に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、現在その準備を進めております。この度、Sleeping Box®『まゆ玉®』を活用したアンテナショップ（ショーケース）型宿泊施設の概要が固まりましたので下記の通りお知らせ致します。

記

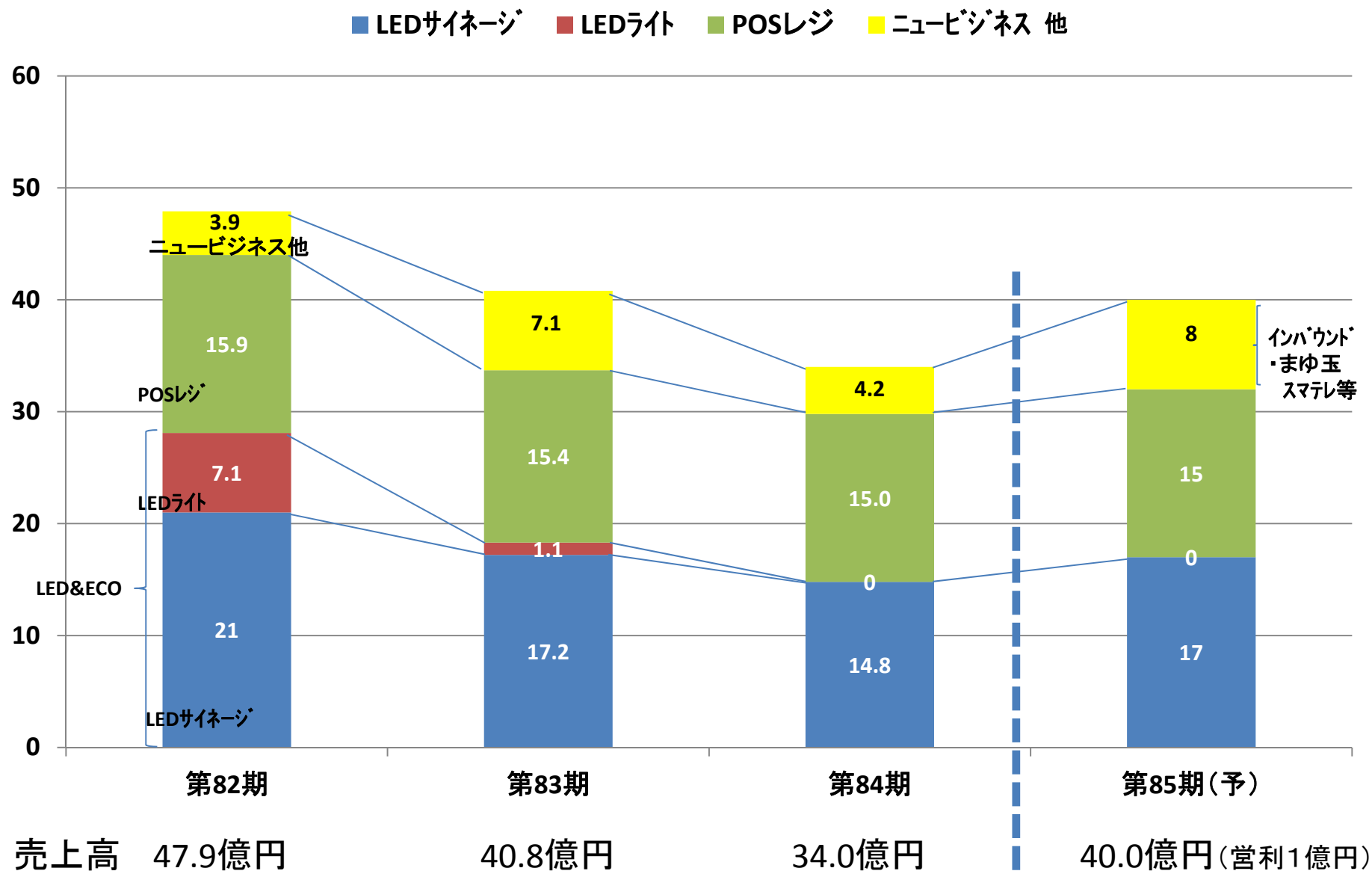
1. 所在地 神奈川県横浜市中区 JR 東日本根岸線（関内駅）徒歩2分
2. 名称 『まゆ玉 キャビン』
3. 開業日 平成30年12月（予定）
4. 客室数 72ベット（予定）
5. 特徴
① “また泊まりたくなる”をテーマに、快適性、コミュニティ形成をコンセプトと致します。
② 弊社が企画開発致しました、快適空間と利便性を兼ね備えた Sleeping Box®『まゆ玉®』を導入致します。
③ アンテナショップ（ショーケース）型として、弊社製品・サービスの価値創造を追求すると共に、幅広い企業との連携により IoT を活用した省力化システムの導入等を図り、お客様満足度の向上を目指します

以上



イメージ画像

7. 商品別売上構成



8. (株)Mビジュアル(インバウンド事業会社)

＜市況動向＞

訪日外国人 2977万人と急増する。

観光庁は18日、2017年度に日本を訪れた外国人旅行者数が前年度比19・9%増の2977万人となり、過去最高を更新したと発表した。過去最高を更新しており、年度では3000万人突破が目前に迫った。

政府は東京五輪・パラリンピックが開かれる2020年に訪日外国人旅行者を4000万人とする目標を掲げている。観光庁の記者会見で「我々の目標に向けて堅調に推移している。重要な政策を加速していきたい」と述べ、目標達成に全力を挙げる考えを示した。

政府は訪日外国人旅行者を増やすため、中国を中心にビザ発給の条件を緩和したほか、出入国管理体制の充実、空港や港湾の整備などに取り組んできた。急増する外国人の受け皿として、一般の住宅に有料で旅行者らを泊める「民泊」を6月から全国で解禁する。

問題は宿泊施設が少ないことだ。ニーズのある民泊を広めるほか、古いオフィスビルを改装するなどしてホテルの供給を増やすべきだ」と指摘している。

1) 設立	平成13年10月1日
2) 資本金	6000万円
3) 代表者	代表取締役社長: 清水 洋一郎 元JTBコミュニケーションズ代表取締役
4) 主要株主	TBグループ(100%)
5) 事業内容	①インバウンド事業／ホテルVODのIPTV化による多言語放送及び多言語eコマース事業 ②音声ペン及びスマホによる有名観光地多言語ガイド事業 ③多言語LEDサイネージのレンタル＆ソリューション事業

ホテル向けIPTV「スマテレ」

従来のホテル向けVODの機能を大きく超えたホテル向けインターネットテレビシステム(IPTV)



＜スマテレOTTBOXの特徴＞

- ①NETFLIXやHULUの映画配信サービスが見れます。
(アプリ機能)
- ②スマホやタブレットの画面をTVで見ることができます。
(ミラーリング機能)
- ③多言語ニュースが見れます。(ブラウジング機能)
- ④YOUTUBEなどネットコンテンツが見れます。(閲覧機能)
- ⑤Eコマースができサンプルの注文ができます。
(Eコマース機能)
- ⑥テザリング機能が使えます。(WIFI機能)
- ⑦4K対応で高画質です。
- ⑧スマホ決済ができます。(2バーコード利用)

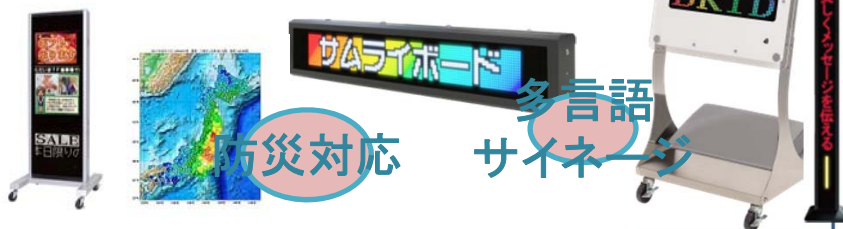
多言語音声ガイドペン＆ ネットワークデジタルサイネージ

全国の有名観光地での多言語音声ガイドペン。

- ①有名観光地：比叡山/高野山/東本願寺/厳島神社
長崎グラバー園/i姫路城など全国各地
- ②東北復興：岩手県 宮城県 福島県 5都市
会津若松市、登米市、一関市、奥州市、栗原市



iサイネージ：観光案内や防災案内機能を
備えたネットワーク対応デジタルサイネージ



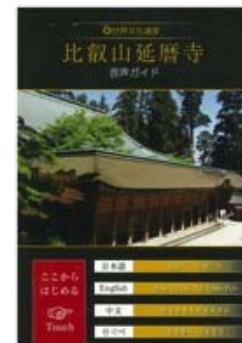
宇佐神宮



本願寺



東本願寺



比叡山延暦寺



姫路城



沖縄-那覇バス



宮島



高野山



グラバー園



トヨタレンタカー



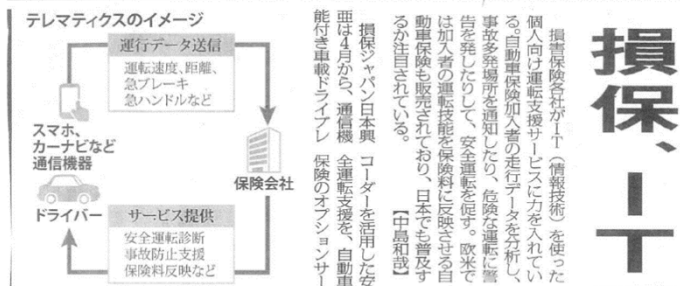
アドベンチャー
ワールド

9. (株)エムモビリティ(ドライブレコーダー・テレマティクス事業会社)

＜会社概要＞

＜市況動向＞

2017年3月3日每日新聞



危険な操作、場所警告

[illegible]

走行データ分析 事故減へ

始めた。

「ト」を使って運転特性を把握し、サービスに反映させる技術は、呼ばれた、事故や保険金の支払削減につながる」として言われている。欧米は「急ブレーキの回数」といった運転特性を走行距離を保険料の減に結びつける「レマ保険」も数年前から広がり、2000年には英米の自動車保険約3割に達するとの予測もある。

一方、運転特性に応じたテーマ保険を提供する自動車保険の等級制度。無事故の期間に応じて保険料を割引く制度、事故起こすリスクに応じて料率を10等級から1、年間無事故なら1等級がって保険料が安く、事故を起こすと2等級下がって高くなる仕組み。

新規契約は6等級からスタートし、無事故のまま続ければ、国内では21番の、国内では大手である欧米は、日本にもオアシスという制度が整備され、最も高の20等級まで上れば保険料が最大6割下がるのが優格措置を取っている。二段の値下げの余地をいじり、大比谷ハク法律事務所は「車の山手弁識士は、運転に自信のあるドライバーが通常の保険料より2割減の認められつつあり、欧米は事故のあるドライバーは大幅に上乗せされる」と指摘している。

20等級以上ならば、自費で修理をするか保険を走らなければ、等級は影響ない。他は自動車保険に切替えても、等級はそのまま引き継がれる。20等級以上は、事故を起こし契約者は等級下がるに比べて、同等級に比べて保険料が年間約1割高くなる制度改正も行われた。

1) 設立	平成10年10月1日
2) 資本金	2.98億円
3) 代表者	代表取締役社長: 竹之内 常晴
4) 主要株主	・TBグループ ・NDS(株)(東証Ⅰ部) ・毎日新聞社グループ ・セーラー万年筆(株)(東証Ⅱ部)
5) 事業内容	①クラウド対応ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフメーカー ②テレマティクス(移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供する)事業

①ドライブレコーダー

②デジタルタコグラフ＜運行記録計＞

平成29年4月以降は車両総重量7トンクラス
でも運行記録計の装備が義務化されました。

SKYEYEDMS / DRSMART ご利用イメージ



③ドライブレコーダー運行管理システム



運行データは
ビッグデータへ

動態



運行軌跡/軌跡



イベント



10. (株)ホスピタルネット

<会社概要>

1) 設立	平成10年10月1日
2) 資本金	5.49億円
3) 代表者	代表取締役社長: 武田 利信
4) 主要株主	・(株)TBグループ ・セントケア(株) ・シダックスフードサービス(株) ・日本金銭機械(株)
5) 事業内容	病院をホテルのように快適に！を経営理念として展開している。 <TVカードシステム> ・プリペイド方式テレビカードシステム ・FeliCa ICカードシステム(HosCa) <院内コンシェルジュシステム> ・タブレット端末(HosPad) ・医療機関向け 外来呼び出しシステム ・癒しのサイネージ(HealingVision AQUA) ・スマートヘルスケア



医療施設向けタブレット端末 **HosPad**
導入事例

北里大学病院

新病院に受け継がれる パイオニアの精神

■ 病床数: 1,033床
■ システム導入: 2014年5月

1971年の開院以来、高度な先端医療を持つ大規模医療機関として発展してきた北里大学病院は、2014年5月7日に新病院をオープンした。その際に「HosPad」が666台導入され、入院案内や手術・検査説明のコンテンツ、売店発注システム、アンケート機能等で新病院の運営に貢献している。旧病院から受け継がれる「患者中心の医療」「共に創り出す医療」を理念とし、50年後の医療のあり方を見据え「成長する病院」を目指し続ける新北里大学病院より、今回は現場の事を一番理解されている看護部長に「HosPad」導入の経緯と効果について話を伺った。

患者中心の医療、共に創り出す医療

北里大学病院は、戦後最初に設立された私立大学病院である。当時はまだ医師が病院の中心であるという考えが一般的な時代であったが、そこで患者中心の病院を作りたいと志す人が全国より集まって設立されたのが、この北里大学病院。こうした背景を持つ北里大学病院では、全職員にチーム医療の意識が自然と浸透しており、セクション間の風通しも良く自由な意見交換が行われてきたそうです。「以前から会議ではタブレットを使っていました。それを患者さんにも持っていただき、術前指導や各種情報の説明が出来たら良いという意見が出ていました。ご年配の方にも使いやすいのではないかとという意見も出ており、HosPadの導入は早々に決定されました。」

ざっくりと切り出して下さった点からも、風通しの良さやセクション間だけではなくと感じました。

HosPadの機能性

HosPadの運用は、患者さんの入院時から始まる。病院スタッフがHosPadを病室へ持っていき、患者さんに使い方を説明した上で、医療安全のビデオを見てもらうよう促している。

Q、HosPadに対する患者さんの反応はいかがですか？

「タブレット端末やスマホを目に慣れている方には、抵抗なく使ってもらえています。一方で初めから苦手意識を持たれる方もおり、そういった方に対応していくのが課題の一つと考えています。」

「看護師と一緒に入院案内や医療安全のビデオ等のコンテンツを見ることで、患者さんの苦手意識も払拭されると思っていますので、今後は我々からそういった時間を設ける必要があります。」

Q、コンテンツは有効活用出来ていますか？

「現在、入院案内や病室・検査・手術案内、医療安全のビデオがコンテンツとしてありますが、とても便利なので、もっとコンテンツを増やしていきたいと考えています。診療科からは、医師が検査の説明をする際に使いたいという要望も来ています。」

「コンテンツはパワーポイント等でも作れるハードルの低いものですので、早急に拡大していきたいです。」

Q、HosPadの売店発注システムは、ファミリーマート・北里マート・有隣堂(書店)・花喜太(花屋)の4店舗の商品を対象とし、配達時間を決めてデリバリーをしているそうですが、好評ですか？

「利用されている方は、予想以上に多いです。」

「妊婦の方は、病室と同じフロアに売店があるにも関わらず、売店発注システムを利用されています。」



病室のような居心地の良い空間。ゆったりとした雰囲気の中で患者さんが過ごしています。



入院された患者さんには人気の病室ラウンジからは、素晴らしい景色が広がっています。

<HosPad導入事例 健診システム>

ホスパッド
HosPad 健診誘導システム
導入事例

医療法人 松柏会
**名古屋ビル
セントラルクリニック**
最先端医療機器による
ハイレベルな健診施設

■ システム導入: 2016年4月

院長
芳野 純治さん

2016年4月1日、名古屋ビルセントラルクリニックは、テルミナセントラルクリニックより移転し、最新鋭の検査装置を備えた検査・診療施設として御開業いたしました。
開院に伴い、(株)ホスピタルネットとの共同開発で誕生したのが「HosPad健診誘導システム」です。システムの導入経緯と効果などについて、院長と現場スタッフの方々に話を伺ってまいりました。

管理端末
スタッフ用タブレット

HosPad
受診者用タブレット

スマートな健診施設

まず最初に、名古屋ビルセントラルクリニックの院長、芳野純治さんにお話を伺いました。
Q. クリニックのコンセプトを教えてください。
A. 「予防医療から、健診、健診後のフォローまで一貫した診療を受診者様に提供することです。」
「より質の高い健診を受診者様に提供するため、当クリニックでは名古屋大学と共同研究を行っています。同意をいただいた受診者様を対象に、健診データを名古屋大学に提供、解析して、病気の予防に活用しています。」
「クリニックの特長として、最新の検査機器を備えていることと、専門外来が充実していることが上げられます。健診で異常が見つかったとしてもすぐに対応することができます。」
常に受診者様第一の考えのもとに尽力する名古屋ビルセントラルクリニック。そんなクリニックが考えたのは、受診者様の満足と効率的でスマートな健診運用。
その答えは、HosPad健診誘導システムにありました。

心が落ち着く待合ホール

開業前デザインの待合室

健診誘導システムの機能

次に、健診誘導システムのプロジェクトリーダーであり、検査技師でもある、岡本貴文さんにシステムの運用についてお話を伺いました。
Q. システムの運用方法を教えてください。
A. 「受診者様が健診ホールに入る際に HosPad をお渡しします。画面には次に行く場所が表示されるので、その誘導案内に沿って検査を受けていただけます。」
画面には検査の詳細説明が表示されるため、受診者様への検査説明の手間が省けます。また、目的地が記された院内 MAP も見られるので広い施設内でも迷いません。
「管理端末で混雑状況を確認して受診者様を空いている検査へ自動誘導できるので、検査の待ち時間も減りましたし、現場の状況を見て動き回る必要がなくなりました。効率よく動けるようになったことで、人員を適所に配置できるようになりましたね。大切な所に目が行き届くようになって、導入前よりきめ細やかなサービスをできるようになりました。」
「検査漏れもなくなりました。健診誘導システムは、設定した順番通りに誘導できるので、人的ミスで必要な検査を飛ばしてしまうことがなくなりました。」
他にも、検査結果を機器から自動入力でき、誤入力の防止

管理端末で受診者様を空いている検査室に誘導できる

受付後、HosPad が渡される

<スマートヘルスケア概要図>



病室テレビのスマート化 (IPTV&AI対応)

- ① 各種コンテンツ／人気動画配信サービス
- ② AIスピーカーによる病院のインフォメーション提供
- ③ AIスピーカーによるアラーム・タイマー設定、ニュース・天気予報など各種情報の取得
- ④ 音声でのテレビ、照明やエアコンの制御
- ⑤ ランドリーの使用状況をリアルタイムに通知
- ⑥ 見守り機能
- ⑦ インフォームド・コンセント(*) のサポート

(*) 治療や手術などに際して、医師が病状や治療方針を分かりやすく説明し、患者の同意を得ること

11. 用語解説(五十音順・アルファベット順)

◇音声ガイドペン

当社の多言語によるペン型の音声情報案内端末のことを言う。ペン端末でガイドブックから言語選択を行い地図や写真等に触れれば、自動的に多言語にて案内説明を行う。

◇クラウド

ネットワークを介してソフトウェアやデータを提供するサービスの形態の一つ。顧客がサーバー等のハードウェアやソフトウェアを購入(所有)することなく、サービスとして必要な時に必要なだけ利用できる仕組み。

◇指紋認証レジ(生体認証)

クレジット決済等に当たりカードの提示など必要が無く、予め登録した指紋照合で決済ができるレジ。インバウンド客の買い物などについてパスポートの提示が不要となる。

◇スマテレ®(スマートテレビ)

インターネットに繋がっているTVを指し、ネット配信動画コンテンツなどがシームレスに見れるものをいう。当社グループにて商標取得している。今後病院やホテルにての需要が拡大すると見込まれる。

◇スマートヘルスケア

AIやIoT技術を活用して健康生活の維持・管理を行う仕組みをいう。当社の成長戦略の大きな一つとして、病院・介護施設での普及を目指している。一方、インバウンド客を迎えるホテル客室での多言語サービス対応等も視野に入れている。

◇ソリューション

一般的には、“解決すること”などの意味だが、最近のビジネスでの使われ方では、企業がビジネスやサービスについて抱えている問題や不便を解消することの全てを提供することを指す。

◇デジタルサイネージ(DS)

店舗・公共空間・交通機関等様々な場所で、ディスプレイ等の電子的な表示機器を使って情報を発信・表示するシステムの総称。

◇デジタルタコグラフ(デジタルタコ)

自動車の走行時間や速度などの運行記録を自動的にメモリーやサーバー上に記録するシステムをいう。デジタル記録により運行記録の解析が容易となる。

◇テレマティクス

車両や交通機関などに移動体に携帯等の通信システムを利用してサービスを提供することの総称を指す。

◇フィンテック(FinTech)

Finance(金融)とTechnology(情報技術)を組み合わせた造語で、ICTと金融を融合させることによって新しい金融サービス等を創りだすことを指す。

◇まゆ玉®

当社の開発したカプセルホテル向け宿泊設備の総称を指す。宿泊設備としての利便に優れ、また日本基調のデザインによりインバウンド客向けの施設としても有効と考えている。

◇モバイルレジ

移動体端末として使用されているiPad等のタブレットにレジアプリケーションを搭載し、他の周辺機器と連動しPOSレジシステム化したもの。

◇AI(Artificial Intelligence)

人工知能の総称で、コンピュータ内に蓄積されたデータや情報とともに、人間の意思決定・判断過程を蓄積し、課題に応じて人に意思決定のための材料や選択肢を提供する仕組みを指す。

◇e-コマース

電子商取引の略で、インターネット上での商品やサービスの売買をいう。ネットショッピングとも呼ばれる。

◇IoT(Internet of Things)

コンピュータ等の情報通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体に通信機能を具備し、インターネットに接続及び相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

◇i サイネージ

AIやIoTを活用したデジタルサイネージの仕組みをいう。サイネージ機器に各種センサーを組み込み、サイネージに直面するユーザーあるいは回りの環境の変化により表示する内容を変化させるものである。またタッチパネルも装備させ、ユーザーとのインタラクションも可能にできる。

◇POS

Point of salesの略で、販売時点管理のことをいう。ネットワークで結ばれた各店舗のPOS端末に販売データを入力することで、即時に全社の集約管理ができ、併せて在庫補充や物流手配までが行われる仕組みをいう。